

## 北信越支部創立45周年を迎えて

公益社団法人 空気調和・衛生工学会  
会長 井上 隆



北信越支部創立45周年を迎えるにあたり、お祝いの言葉を申し上げます。

まず、北信越支部の設立にご尽力された諸先輩各位、今日の北信越支部へと発展させた歴代支部役員各位、会員各位に対して衷心より敬意を表します。

北信越支部は、1970年(昭和45年)に設立され、積雪に代表される特有の気象条件をはじめ北信越地域での空気調和・衛生工学に関する研究、開発、教育と関連する産業分野の発展に大きく貢献されてきました。

35周年には当時の水野会長が挨拶されており、その後本会は、鎌田先生、射場本先生、坂本先生、加藤先生が会長を務められ、公益法人制度改革により2012年4月に公益目的事業を行うことを主たる目的とする公益社団法人に移行し新たなスタートを切りました。体制・規程類の整備もようやく整って参りましたが、支部におかれましても対応が必要となる事項が多々発生しご苦勞頂いたこと改めて感謝申し上げます。

現在、21世紀の空調・衛生設備／技術ビジョンについて着実に実施し、災害時のBCP検証法の標準化、空調システムエネルギーシミュレーションツールの標準化評価法やZEB定義に関する委員会で作られた成果は会員・社会に発信していく段階を迎えており、また、BIMの委員会も活動を開始しております。欧米やアジア諸国などとの国際交流の一層の推進、SHASE技術フェローによる学会活動の活性化も積極的な実施を計画しています。

地球温暖化問題の観点から建築・住宅など民生部門においてCO2排出抑制のための対策と実行が求められていることは周知のとおりですが、大規模災害への対応を考えると、省エネルギー化・CO2排出削減のみならず、居住者や執務者の安全性、健康性、快適性等の確保も重要な課題です。これらの解決に対して大きく貢献できる蓄積を有する本会は責任重大と云えます。

北信越支部におかれましては、支部総会・報告会における開催地の気候風土やものづくりに関する講演会の企画、若手技術者育成の企画、能登半島地震、中越沖地震、中越地震、東日本大震災、長野県北部地震など多くの機会を捉え建築設備に関する調査を実施されてきたこと、さらには、振興賞技術振興賞など多くの賞を受賞されていることなど、活発な支部活動あるいはその成果に敬意を表したいと思います。持続可能で災害に強い社会の構築に貢献し魅力ある学会を目指すために、引き続き支部の皆様方の活発な活動と貢献を期待させて頂きたく存じます。

本年3月14日に開業した北陸新幹線については私自身も何度か利用し、本地域が全国から注目を浴びていること、沿線都市間の関係が大きく変化しつつあることを実感しております。

設立45周年を迎えられる北信越支部会員各位に心よりお祝いを申し上げ、今後の支部の新たな展開と益々の発展、各位のご活躍を祈念して祝辞とさせていただきます。